

総合指数は2年連続下落

～平成22年福岡市消費者物価指数～

今月号の特集は総務省統計局が公表している消費者物価指数について、福岡市の平成22年の結果を紹介します。

消費者物価指数とは、ある基準となる年に家計で購入した様々な商品（財やサービス）と同じものを、別の年に買いそろえるのに必要なお金がいくらになるかを指数で表したものの。

1. 概況

福岡市の平成22年平均の消費者物価指数は総合が98.9（平成17年を100とする）と、前年に比べ0.7%下落しています。全国の総合も99.6と前年に比べ0.7%下落し、福岡市、全国ともに総合指数は2年連続の下落となりました。

また、季節等により変動の激しい生鮮食品を除く総合でも、福岡市が98.6で前年比1.0%の下落、全国も99.3で前年比1.0%の下落となっています。

「食料」、「住居」等の10大費目別で見ると、指数が最も高いのは「諸雑費」の103.6

で、次いで「光熱・水道」の102.5となっています。一方、指数が最も低いのは「家具・家事用品」の86.3で、次いで「教育」の93.0となっています。

前年比では、「被服及び履物」、「交通・通信」及び「諸雑費」以外の費目は下落しており、中でも「教育」は下落幅が最も大きく、比較可能な昭和46年以降初めての下落となりました。なお、「家具・家事用品」は平成6年以降、「教養娯楽」は平成11年以降下落が続いています。（表1、図1）

図1 消費者物価指数（総合）の推移

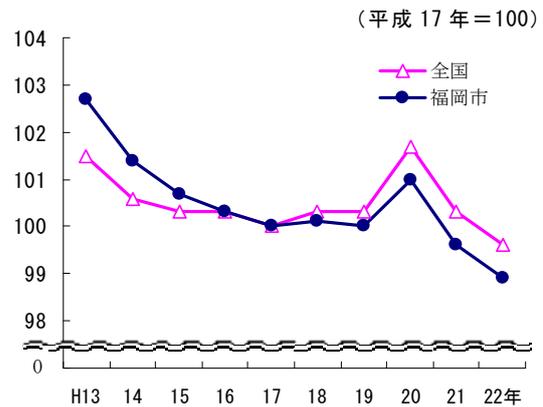


表1 消費者物価指数（10大費目）の推移

年	総合	生鮮食品を除く総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数												
平成18年	100.1	99.9	100.2	100.3	102.0	97.9	100.4	99.2	99.8	100.7	98.8	101.4
19年	100.0	99.7	100.6	100.4	102.5	93.6	97.8	99.0	99.8	102.0	98.1	102.4
20年	101.0	100.8	102.5	101.3	105.7	92.4	97.1	98.8	101.6	102.1	97.3	102.6
21年	99.6	99.6	102.0	100.7	103.8	89.9	94.8	99.4	97.9	102.5	95.3	101.9
22年	98.9	98.6	101.9	99.9	102.5	86.3	94.8	99.1	98.7	93.0	93.9	103.6
〃(全国)	99.6	99.3	103.3	99.4	105.9	89.6	99.8	98.8	98.4	93.1	92.7	103.0
前 年 比 (%)												
平成18年	0.1	△ 0.1	0.2	0.3	2.0	△ 2.1	0.4	△ 0.8	△ 0.2	0.7	△ 1.2	1.4
19年	△ 0.1	△ 0.2	0.4	0.1	0.5	△ 4.4	△ 2.6	△ 0.2	0.0	1.3	△ 0.7	1.0
20年	1.0	1.1	1.9	0.9	3.1	△ 1.3	△ 0.7	△ 0.2	1.8	0.1	△ 0.8	0.2
21年	△ 1.4	△ 1.2	△ 0.5	△ 0.6	△ 1.8	△ 2.7	△ 2.4	0.6	△ 3.6	0.4	△ 2.1	△ 0.7
22年	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.1	△ 0.8	△ 1.3	△ 4.0	0.0	△ 0.3	0.8	△ 9.3	△ 1.5	1.7
〃(全国)	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.2	△ 4.6	△ 1.2	△ 0.5	1.0	△ 9.6	△ 1.7	1.3

注) 年平均

2. 10大費目別指数の動き

- ①食料 「野菜・海藻」や「果物」は前年と比べ上昇しましたが、「魚介類」「肉類」等の他の分類が下落し、全体で0.1%の下落となりました。
- ②住居 ウエイトの大きい「家賃」が前年比1.1%の下落となったため、全体で0.8%下落しています。
- ③光熱・水道 「他の光熱」(灯油)は上昇しましたが、「電気代」「ガス代」が前年より下落し、全体で1.3%の下落となっています。
- ④家具・家事用品 ウエイトの大きい「家庭用耐久財」(電気冷蔵庫, ルームエアコン等)が13.7%下落し、全体で4.0%の下落となりました。
- ⑤被服及び履物 「シャツ・セーター・

下着類」が下落しましたが、「衣料」等他の分類が上昇し、前年と同指数となりました。

- ⑥保健医療 「保健医療サービス」(診察代等)は1.4%上昇していますが、「保健医療用品・器具」(コンタクトレンズ等)が3.8%下落し、全体では0.3%の下落となっています。
- ⑦交通・通信 「交通」(有料道路料金, 航空運賃等)は1.1%下落しましたが、「自動車等関係費」が2.2%上昇し、全体で0.8%の上昇となっています。
- ⑧教育 公立高等学校の授業料無償化等により「授業料等」が11.8%下落し、全体で9.3%下落しています。
- ⑨教養娯楽 「教養娯楽用品」(文房具, 運動用具等)が4.3%、「教養娯楽用耐

表2 中分類別指数

(平成17年=100)

分類	ウエイト	平成21年			前年比 (%)	分類	ウエイト	平成21年		
		21年	22年	23年				21年	22年	23年
総	10 000	99.6	98.9	△0.7	被服関連サービス	32	105.4	105.4	0.0	
食	2 508	102.0	101.9	△0.1	保健医療	406	99.4	99.1	△0.3	
穀類	208	103.5	101.3	△2.1	医薬品・健康保持用摂取品	124	94.2	92.9	△1.4	
魚介類	231	104.0	98.1	△5.7	保健医療用品・器具	67	101.5	97.6	△3.8	
肉類	226	103.9	101.4	△2.4	保健医療サービス	215	101.7	103.1	1.4	
乳卵類	106	104.1	103.7	△0.4	交通・通信	1 554	97.9	98.7	0.8	
野菜・海藻	268	101.5	108.4	6.8	交通	338	101.6	100.5	△1.1	
果物	82	93.4	107.2	14.8	自動車等関係費	843	98.4	100.6	2.2	
油脂・調味料	97	104.8	104.8	0.0	通信	374	93.6	92.8	△0.9	
菓子類	203	102.6	101.0	△1.6	教育	442	102.5	93.0	△9.3	
調理食品	245	106.0	105.7	△0.3	授業料等	351	101.5	89.5	△11.8	
飲料	129	91.7	91.2	△0.5	教科書・学習参考教材	10	105.8	106.6	0.8	
酒	123	99.2	98.9	△0.3	補習教育	82	106.2	106.5	0.3	
外食	591	101.5	101.0	△0.5	教養娯楽	1 186	95.3	93.9	△1.5	
住居	1 755	100.7	99.9	△0.8	教養娯楽用耐久財	115	42.5	34.6	△18.6	
家賃	1 447	100.1	99.0	△1.1	教養娯楽用品	225	101.4	97.0	△4.3	
設備修繕・維持	308	103.9	104.3	0.4	書籍・他の印刷物	159	101.2	101.4	0.2	
光熱・水道	655	103.8	102.5	△1.3	教養娯楽サービス	687	100.7	101.0	0.3	
電気代	260	102.5	99.6	△2.8	諸雑費	654	101.9	103.6	1.7	
ガス代	195	107.8	105.8	△1.9	理美容サービス	135	101.1	101.1	0.0	
他の光熱	23	100.1	112.3	12.2	理美容用品	156	95.2	94.7	△0.5	
上下水道料	178	101.7	101.7	0.0	身の回り用品	106	115.7	117.0	1.1	
家具・家事用品	318	89.9	86.3	△4.0	たばこ	56	109.2	119.7	9.6	
家庭用耐久財	104	61.3	52.9	△13.7	他の諸雑費	201	98.4	100.6	2.2	
室内装備品	31	105.3	105.8	0.5	生鮮食品	374	100.9	106.8	5.8	
寝具類	23	109.1	115.5	5.9	生鮮食品を除く総合	9 626	99.6	98.6	△1.0	
家事雑貨	74	105.3	103.2	△2.0	持家の帰属家賃を除く総合	9 050	99.5	98.8	△0.7	
家事用消耗品	67	101.0	97.0	△4.0	持家の帰属家賃及び生鮮食品を除く総合	8 675	99.4	98.4	△1.0	
家事サービス	18	97.8	97.8	0.0	エネルギー	664	102.8	104.6	1.8	
被服及び履物	521	94.8	94.8	0.0	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	6 951	98.5	97.2	△1.3	
衣料	231	91.4	93.5	2.3	教育関係費	520	102.6	94.5	△7.9	
シャツ・セーター・下着類	169	100.8	97.5	△3.3	教養娯楽関係費	1 377	96.0	94.7	△1.4	
履物類	53	84.5	85.5	1.2	情報通信関係費	503	95.6	95.3	△0.3	
他の被服類	35	94.1	95.3	1.3						

久財」(テレビ(薄型), パソコン等)が18.6%下落し, 全体では1.5%の下落となっています。

⑩諸雑費 「たばこ」が9.6%, 「他の諸雑費」(介護料等)が2.2%上昇し, 全体で1.7%の上昇となりました。(表2)

3. 年間の動き

消費者物価指数の年間の動きを見ると, 総合の最高値は10月の99.4, 最低値は1月及び2月の98.5となっています。

10大費目別に見ると, 「食料」「住居」「光熱・水道」「保健医療」「交通・通信」は年間を通してほぼ横ばいとなっています。「家具・家事用品」は年間を通じて下落傾向にあり, 「教養娯楽」は8月に山となり, 「被服及び履物」は冬と夏に谷とな

る傾向があります。「教育」は, 公立高等学校の授業料無償化等により, 4月に102.6から89.8(年最低値)まで下落し, 以後12月まで同値で推移しています。

「諸雑費」は, たばこ税率の引き上げにより10月に101.9から108.4へ上昇し, 12月には108.8となり最高値となっています。(表3, 図2)

4. 大都市の状況

17大都市(数値が公表されていない相模原市, 浜松市及び堺市を除く政令指定都市及び東京都区部)の消費者物価指数(年平均)を見ると, 総合では横浜市が100.2で最も高く, 最も低いのは大阪市で97.9となっており, 福岡市は16番目となっています。前年比は全ての都市で下落

図2 消費者物価指数の推移(月別)

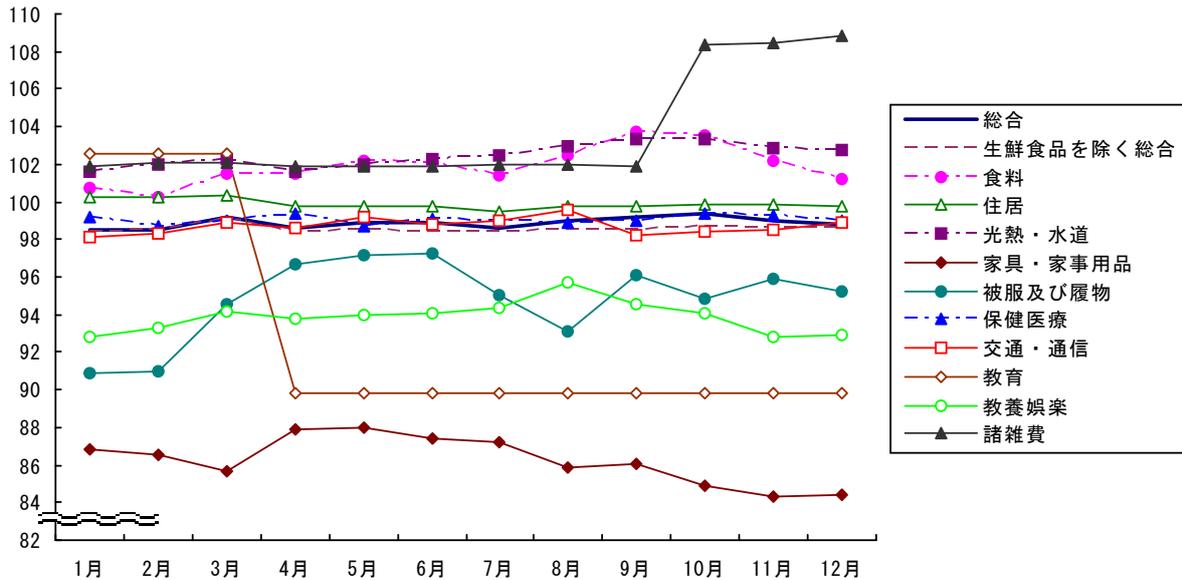


表3 消費者物価指数の推移(月別)

平成22年		(平成17年=100)											
分類		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合		98.5	98.5	99.2	98.6	98.9	98.9	98.6	99.0	99.2	99.4	99.0	98.8
生鮮食品を除く総合		98.4	98.5	99.1	98.4	98.5	98.4	98.4	98.5	98.5	98.7	98.6	98.6
食料		100.7	100.2	101.5	101.5	102.2	102.1	101.4	102.5	103.7	103.5	102.2	101.2
住居		100.2	100.2	100.3	99.8	99.8	99.8	99.5	99.8	99.8	99.9	99.9	99.8
光熱・水道		101.6	102.0	102.3	101.6	102.0	102.3	102.5	103.0	103.3	103.3	102.9	102.8
家具・家事用品		86.8	86.5	85.7	87.9	88.0	87.4	87.2	85.9	86.1	84.9	84.3	84.4
被服及び履物		90.9	91.0	94.6	96.7	97.2	97.3	95.0	93.1	96.1	94.8	95.9	95.2
保健医療		99.2	98.7	99.0	99.4	98.7	99.1	99.0	98.9	99.0	99.4	99.3	99.0
交通・通信		98.1	98.3	98.9	98.6	99.2	98.8	99.0	99.6	98.2	98.4	98.5	98.9
教育		102.6	102.6	102.6	89.8	89.8	89.8	89.8	89.8	89.8	89.8	89.8	89.8
教養娯楽		92.8	93.3	94.2	93.8	94.0	94.1	94.4	95.7	94.6	94.1	92.8	92.9
諸雑費		101.9	102.1	102.1	101.9	101.9	101.9	102.0	102.0	101.9	108.4	108.5	108.8

しており、下落幅が最も大きいのは大阪市で、福岡市の下落幅は11番目です。

10大費目別の最高値を見ると、「食料」は4年連続で静岡市、「住居」は3年連続でさいたま市となっています。「光熱・水道」は札幌市、「家具・家事用品」は岡山市、「被服及び履物」は3年連続で広島市、「保健医療」と「教育」は川崎市、「交通・通信」は北九州市、「教養娯楽」と「諸雑

費」は横浜市です。

前年比では、「家具・家事用品」「教育」「教養娯楽」の3費目が全ての都市で下落し、「交通・通信」「諸雑費」の2費目が全ての都市で上昇しています。(表4)

* * * * *

総務省統計局のホームページで詳細をご覧になれます。

<http://www.stat.go.jp/>

表4 大都市の消費者物価指数

平成22年		(平成17年=100)										
都市	総合	生鮮食品 を除く 総合	食料	住居	光熱・ 水道	家具・ 家事用品	被服及 び履物	保健医療	交通・ 通信	教育	教養娯楽	諸雑費
	指 数											
全 国	99.6	99.3	103.3	99.4	105.9	89.6	99.8	98.8	98.4	93.1	92.7	103.0
札幌市	99.1	98.9	101.9	96.9	107.7	91.7	102.1	98.6	99.2	97.0	91.5	102.2
仙台市	99.1	98.6	101.7	99.8	103.6	83.7	98.5	98.3	99.0	91.0	94.0	103.4
さいたま市	99.2	99.1	100.7	102.3	106.9	88.0	98.7	98.9	98.6	95.9	92.2	101.7
千葉市	99.3	99.1	100.5	100.7	104.9	86.3	95.8	100.3	98.9	96.5	95.7	103.8
東京都区部	99.0	98.8	101.8	99.1	103.2	88.8	97.2	99.0	98.2	98.2	93.6	102.2
川崎市	99.5	99.3	102.5	101.1	103.5	92.3	93.7	101.3	98.4	100.0	91.3	102.1
横浜市	100.2	99.7	103.6	100.5	104.5	89.5	99.2	99.5	97.7	95.8	96.1	104.9
新潟市	99.0	98.6	102.4	98.6	105.9	82.2	103.7	98.0	98.4	94.3	90.8	101.9
静岡市	100.0	99.5	106.2	98.8	104.7	86.9	100.7	100.8	98.6	87.3	91.5	104.0
名古屋市	99.4	99.4	102.2	100.6	103.7	86.4	100.1	97.0	98.2	96.5	93.1	103.5
京都市	99.1	99.1	102.0	97.8	102.5	84.2	100.8	99.0	98.7	97.4	93.4	104.5
大阪市	97.9	97.6	102.4	92.1	102.3	85.6	100.4	101.2	98.2	99.5	91.9	102.0
神戸市	99.4	98.9	102.8	99.1	102.4	89.2	95.2	98.3	98.7	99.0	95.1	101.4
岡山市	99.9	99.8	102.0	100.8	107.2	97.2	98.2	100.2	98.0	88.5	94.8	102.6
広島市	99.9	99.8	103.6	100.3	105.4	81.3	104.0	97.8	98.7	96.6	93.3	103.1
北九州市	99.8	99.5	102.7	99.9	103.0	87.8	98.2	99.4	99.5	90.6	94.9	104.4
福岡市	98.9	98.6	101.9	99.9	102.5	86.3	94.8	99.1	98.7	93.0	93.9	103.6
	前年比 (%)											
全 国	△0.7	△1.0	△0.3	△0.4	△0.2	△4.6	△1.2	△0.5	1.0	△9.6	△1.7	1.3
札幌市	△0.6	△0.7	△0.7	△1.4	2.8	△3.7	0.1	△0.9	0.9	△9.3	△1.5	2.3
仙台市	△0.8	△1.1	△0.5	0.2	△1.1	△6.8	△2.1	0.3	1.0	△11.9	△1.6	1.0
さいたま市	△1.0	△1.2	△0.8	△0.5	△0.7	△3.5	△1.9	△0.8	0.3	△6.2	△1.5	0.7
千葉市	△0.4	△0.7	△0.1	0.7	△1.5	△5.2	△2.2	0.5	0.5	△5.4	△1.5	1.7
東京都区部	△1.0	△1.2	△0.4	△0.8	△2.2	△4.2	△1.5	△0.5	0.2	△4.8	△1.5	1.0
川崎市	△0.9	△1.1	△1.1	0.3	△2.1	△6.6	△3.4	0.3	0.1	△3.3	△1.7	0.7
横浜市	△0.7	△1.3	△0.1	△0.3	△1.6	△7.3	△0.5	△0.4	0.3	△5.9	△1.0	1.1
新潟市	△0.4	△0.9	1.1	△0.8	1.8	△7.8	0.3	△0.8	0.9	△9.3	△2.4	0.8
静岡市	△1.1	△1.3	△0.9	△0.5	△2.2	△6.5	0.0	△1.0	1.3	△10.2	△2.3	2.0
名古屋市	△1.5	△1.5	△1.2	△1.3	△2.6	△6.5	△2.2	△1.7	0.9	△6.7	△1.8	1.1
京都市	△0.9	△1.1	△0.7	△1.0	△1.8	△3.9	△0.6	△1.1	0.9	△5.7	△1.2	1.4
大阪市	△2.1	△2.4	△0.5	△5.7	△2.1	△8.9	△1.4	0.0	0.6	△5.6	△1.9	1.1
神戸市	△0.4	△0.9	0.0	0.6	△1.9	△5.3	△2.9	△0.3	0.8	△2.8	△0.8	1.5
岡山市	△0.8	△1.3	△0.6	0.1	△1.6	△5.4	0.5	△0.1	0.9	△13.3	△1.8	0.5
広島市	△1.0	△1.3	△0.6	△0.1	△1.7	△7.4	△1.1	△0.4	1.1	△8.7	△2.0	1.0
北九州市	△0.5	△0.8	△0.3	0.1	△0.7	△3.9	△1.1	△0.4	1.4	△12.7	△1.0	2.5
福岡市	△0.7	△1.0	△0.1	△0.8	△1.3	△4.0	0.0	△0.3	0.8	△9.3	△1.5	1.7